

(別添資料1)

事業所名		放課後等デイサービスさんらいず				放課後等デイサービス支援プログラム		作成日		2024 年		8 月		27 日	
法人（事業所）理念		利用者等の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な支援を行う。また、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者等に対して必要な障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する													
支援方針		①放課後等デイサービス並びに児童発達支援の提供に当たっては、利用者が生活能力の向上のために必要な支援を行い、及び社会との交流が図ることができるよう、適切かつ効果的な指導支援を行うものとする。 ②事業所の従業者は、指定通所支援の提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者又は保護者に対し、支援上必要な事項について、理解しやすいように説明を行うものとする。 ③事業者は、提供する指定通所支援の質の評価を行い、常にその改善を図るものとする。													
営業時間		9 時		0 分から		17 時		0 分まで		送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康管理(利用時の検温・体調不良時の家族・医療機関等の連携等健康面の支援)・食事支援(食事の際のマナー等の支援)・排泄支援(トイレでの所作や誘導等の支援)・SSTなどによる身体的、精神的、社会的訓練・衣服の着脱(外遊びや水遊び等の活動の前に重点的に取り組む)													
	運動・感覚	・姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善・つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた遊具遊びの提供・ストレッチ、ラジオ体操、軽い運動 ・バランスボールでの姿勢保持・指先トレーニング・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動、ダンス等													
	認知・行動	・天気、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成 ・粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成・ブロック遊びによる空間把握の認知形成・小集団にてゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮													
	言語コミュニケーション	・天気、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成・小集団でのゲームでの適切な行動形成・文字、記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択、活用													
	人間関係社会性	・はじまりの会で今日の体調・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き・自己紹介、他己紹介・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化・役割分担のあるお手伝い、係の仕事、協同遊び・ルールの理解が必要な遊びや集団活動・地域施設などへの社会見学・イベントなどを通じた地域との交流													
家族支援		日常生活の中で利用者、兄弟、家族等の悩み相談、助言、援助等を行っていく。						移行支援		保育所、幼稚園、学校、就労支援事業所、関係機関と連携を図りながら、利用者、ご家族がどのようなニーズをもっているのかを十分把握し、児童発達支援・放課後等デイサービス終了後の方向性を総合的に援助していく。					
地域支援・地域連携		相談支援事業所・学校・保育所・幼稚園・市町村・各障害者施設等と連携を図りながら、利用者等の効果的な指導支援に繋げていく。						職員の質の向上		職員が各種研修に参加できるように支援していく。 日々の打ち合わせにて、支援の方法等について検討し学んでいく。					
主な行事等		季節に応じた行事を実施する。入学進級を祝う会、花植え、いちご狩り、七夕会、ドライブや外出行事、プール、スポーツ大会、ハロウィン、クリスマス会、正月の遊び、豆まき会、ひなまつり、お楽しみ会など。避難訓練(地震津波、火災、不審者)等も随時実施。													